

平成 28 年度 政策科学研究所活動報告

I. 政策科学研究所講演会・コミュニティ論研究会

第1回 2016年6月22日

台湾研究調査報告

講演者：岩田和男（愛知学院大学総合政策学部教授）

講演テーマ：「台湾高齢者のジェンダー・民主化意識」

日本と台湾の高校生の意識調査報告

講演者：二宮克美（愛知学院大学総合政策学部教授）

講演テーマ：「おもいやりと介護意識」

講演者：太幡直也（愛知学院大学総合政策学部准教授）

講演テーマ：「おもいやりと介護意識」

2016年3月8日から11日まで実施した台湾における研究調査の報告。台湾におけるジェンダー、台湾の民主化意識と日本との比較、台湾の高校生の思いやりと介護意識、台湾の高校生のプライバシーの意識についての報告がなされ、その後、質疑応答・議論が行われた。

第2回 2016年7月14日

講演者：山本ちか（名古屋文理大学短期大学部准教授）

講演テーマ：「台湾研究報告—日本と台湾の高校生の事故価値及び自己評価の比較検討—」

全体的自己価値及び外見、知的能力、スポーツ能力についての自己評価について、台湾の高校生を対象に調査し、日本の高校生を対象とした調査結果と比較検討した。特に日本の女子高校生の全体的自己価値、自己評価が低い現状とその諸原因についての考察が示された。その後質疑応答・議論が行われた。

第3回 2016年10月12日

講演者：榊原博美（愛知学院大学総合政策学部准教授）

講演テーマ：「生涯学習政策の問題点—リカレント教育の側面から—」

人間らしく生きる、未来の教育、学習権という観点から、自己責任の生涯学習論へと変化した過程、OECDでのリカレント教育の在り方と日本のリカレント教育の特殊性についての紹介、考察があり、質疑応答・議論が行われた。

第4回 2016年11月16日

講演者：太幡直也（愛知学院大学総合政策学部准教授）

講演テーマ：「見透かされる心—懸念的的被透視感が生じている対人コミュニケーションの特徴—」

欺瞞的コミュニケーションに失敗可能性の憶測と対人コミュニケーションの反応について、懸念的的被透視感が果たす役割についての先行研究及び実験結果をもとにした考察が示された。その後、質疑応答・議論が行われた。

II. 福島県伊達郡川俣町視察

2016年8月3日から5日まで岩田和男総合政策学部教授、村田尚生総合政策学部准教授が福島県伊達郡川俣町を訪問し、山木屋地区での帰還準備状況調査、国道6号線周辺地域の復興状況調査、自治会・婦人会への聞き取り調査を行った。なお、総合政策学部生の有志5名も調査に参加し福島復興状況理解の一助とした。

III. ドイツへの視察

2017年3月18日から27日まで稲垣充廣政策科学研究所所長・総合政策学部教授、杉山知子政策科学研究所幹事・総合政策学部准教授、岩田和男政策科学研究所所員・総合政策学部教授、榊原博美政策科学研究所所員・総合政策学部准教授がドイツ連邦共和国ベルリン、ハンブルク、リューネブルク、ツェレ、ヴィッテンベルクなどにおいてコミュニティの持続可能性、家族・ジェンダー、情報、歴史と記憶、教育などをテーマに関連施設視察及び関係者へのインタビュー調査を行った。

IV. その他の活動

2016年12月24日

Thai-India-Japan Conclave2016 (TIJ Conclave 2016) タイ・インド・日本国際専門家会議2016において稲垣充廣研究所所長が開会挨拶をした。

V. 政策科学研究所所報

所報「政策科学」第8号を2017年3月31日に発行した。

VI. 所員会議

第1回 2016年4月13日

第2回 2016年11月30日